

情報公開文書

課題名 : 胃癌肝転移に対する外科治療成績に関する研究

研究期間: 倫理委員会承認日～2025年12月31日

1. 研究の対象

2002年6月以降に胃癌肝転移と診断を受けた患者さんで、当院で肝切除術を受けられた方

2. 研究目的・方法

胃癌の肝転移は多発であることが多く、かつ、他臓器にも転移を伴うことが多いため、外科治療の対象になることは少ないです。しかしながら、胃癌の肝転移の患者さんで肝切除を受けられた方の中には、結果的に再発なく、長期に生存されている方もおられます。また、胃癌に対する薬物療法の選択肢は増えつつあり、近年、転移再発を認めた患者さんの予後は改善傾向にあります。胃癌肝転移に対して、外科治療と薬物療法を組み合わせることで、治癒率の向上、ならびに、さらなる予後の改善が期待されます。当院にて胃癌肝転移に対して外科的切除を行った患者さんを後ろ向きに調査し、患者さんの特徴、治療成績を検証、解析することで、胃癌肝転移の外科治療に関係した重要な因子を検討し、最新医学を反映した最適な治療戦略を追求します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 年齢、性別などの基本情報、病歴、血液検査結果、画像診断結果、治療歴、合併症の発生状況、病理結果、現在の状況 等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。
また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松医療センター 消化器外科 田村 浩章(研究責任者)

静岡県浜松市中区富塚町 328

TEL: 053-453-7111(代表)